

根占7号機タワー損傷について（速報）

2014年5月30日
南九州ウインド・パワー（株）

1. 南九州ウインド・パワー根占発電所、佐多発電所について

事業会社：南九州ウインド・パワー株式会社

設立日：2000年4月 出資者 丸紅（株）（株）豊島メック

施工事業者：石川島播磨重工業

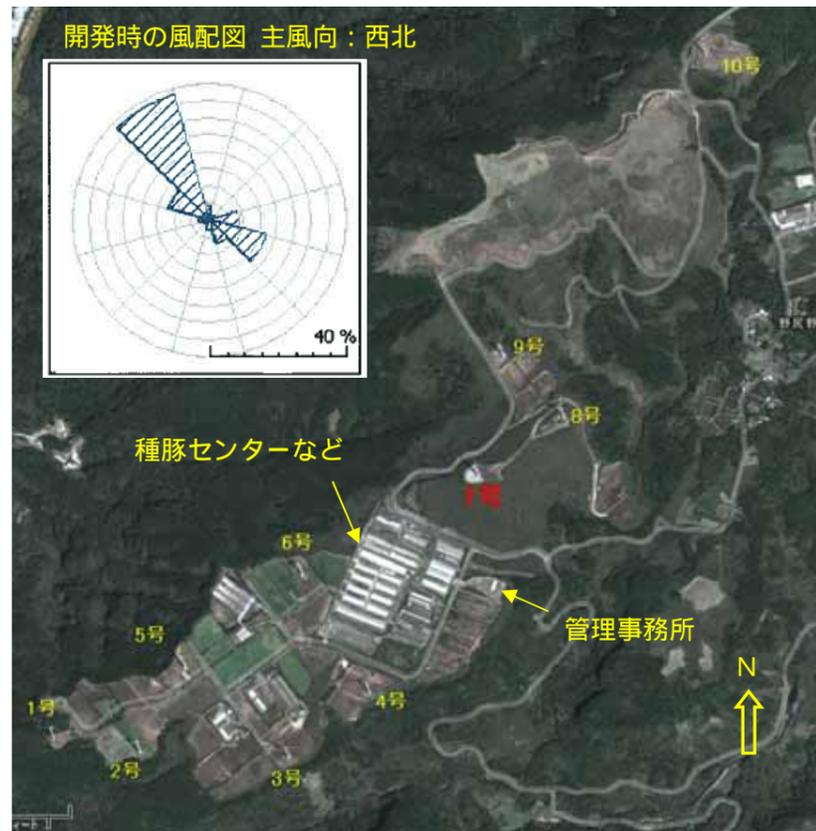
根占発電所：2003年3月運転開始、IHI-NORDEX 1300 × 10基

佐多発電所：2004年3月運転開始、IHI-NORDEX 1300 × 10基

株式譲渡：2009年2月 丸紅（株） 電源開発（株）



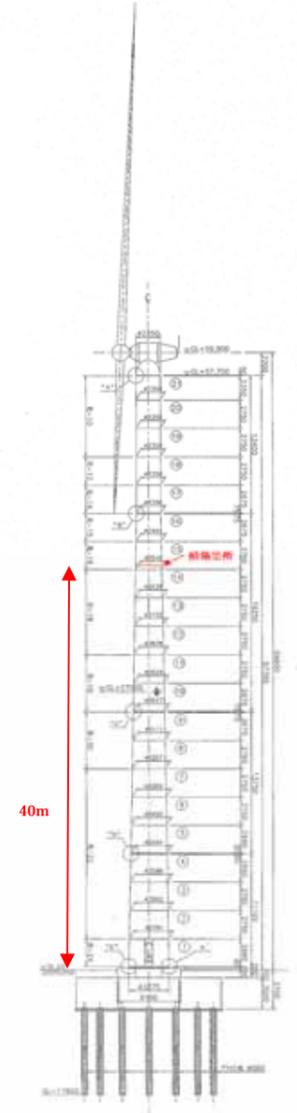
2. 根占7号機について



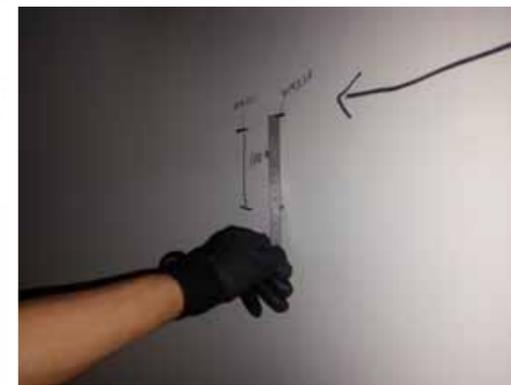
風車型式：IN-1300
 平均風：6.2m/s@20m 高（根占）
 定格出力：1,300kW
 ハブ高さ：60m
 ローター径：60m
 カットイン風速：約3m/s
 カットアウト風速：25m/s
 定格風速：15m/s
 耐風速 IEC Class I(50m/s 10分値)
 出力制御：ストール制御
 タワー設計：IHI
 タワー製作：アムテック（IHI 子会社）
 タワー製造国：中国

3. 損傷の状況

2014年5月21日（水）15時頃、保守員が巡視中に、7号機タワーの第15節（約40m）に筋状の傷が生じているのを発見。発電所は週1回巡視を行っているが、4月～5月の巡視は濃霧等の視界が十分でない状況が続いたことから、タワーに傷がないことが最終的に確認されているのは4月7日である。現在、根占発電所の全10機は発電を停止し、ヨー制御を行っている。また、7号風車近傍は立入り禁止区域を設定。（佐多発電所については、タワーの製造工場・時期が根占と異なることから、目視点検で異常がないことを確認しながら運転継続中）



タワー外面の状況
 溶接部から500mm程度上部が、
 南側半周にわたり凹んでいる。



タワー内面の状況
 上下100mm程度の幅で、内側
 に出っ張っている。



損傷は、タワーの南
 側180°の範囲

4. 原因など

現在調査中であるが、過去5年の最大風速（7号ナセル風速計、10分値）は2012年9月16日台風16号接近時で28.4m/s、風向は南東、4/7～5/21の最大風速は21.1m/s、風向は西南西であった。また根占発電所の風車は建設時タワー溶接部の不具合が見つかり現地補修を受けている。